



**総合政策担当理事**  
あかしま ひいぞう  
**福嶋 慶三**  
環境省から派遣  
元尼崎市理事

**明石市長**  
あまるとん さとこ  
**丸谷 聡子**  
2023年5月に就任  
“笑顔”がモットー



# 新春企画 対話と共創によるまちづくり

市は、「SDGs未来安心都市・明石」の実現「共創」によるまちづくりを進めています。総合政策担当 福嶋慶三理事がこれまでの取り

に向け、さまざまな立場の人と対話を通して新たな価値を共に創る今号では、丸谷市長と市政アドバイザー 中島恵理さん、組みやこれからのまちづくりについて語ります。



こちらから動画でご覧いただけます



## みんなで一緒にまちをつくる

**福嶋** 昨年を振り返っていかがですか。  
**丸谷** 市民の笑顔あふれる、もっともっとやさしいまちにしていきたいと思って取り組んできました。地域課題や市民のニーズを明らかにするためタウンミーティングを月1回以上開催しています。行政がすべきこと、産官学民、いろんな主体の皆さんと一緒に共創でできること、市民の皆さん同士でやっていただきたいことを上手く仕分けをしながら課題を明らかにしているところです。

**福嶋** 県立大学や企業との協定(①)も進め、まさに産官学民で対話の場も広がってきましたね。  
**丸谷** 市民の皆さんにファシリテーション※の技術を身に付けていただきたいということで養成講座を行いました。市役所内でも、全係長にファシリテーション…会議やミーティングを円滑に進める対話技法

ファシリテーションの研修をし、重層的に取り組みながら、去年は共創元年として、素地をつくってきました。  
**中島** これからの社会は行政だけではなく、市民や企業力を生かしながら、一緒に明石のSDGs(持続可能な開発目標)につなげていくことが大事。まさに、「対話と共創」が今の時代に求められています。

## 子ども・若者の力で

**福嶋** 去年の「こども会議」では、自分のまちをよくしたい、という子どもたちの熱い思いが伝わってきました。  
**丸谷** 子どもは明石の未来です。去年は3回シリーズでこども会議を開きました。その中で出てきた意見が、自然の中で自由に遊べる場所がほしいという声。それを実現したのがプレーパーク(②)。



生きる力をつけて欲しいというのと、自分たちが声を出したことがこうやって実現するんだ、ということを経験してもらいました。  
**中島** 明石は子育てしやすいまちで有名ですが、それだけでなく、子どもや若者が社会参画できる取り組みを具体的に進めているのはとても素晴らしいと思います。  
**丸谷** 子どもたちに必要なのは生きる力です。体験しないと身につかないものもあります。私は、想像力と創造力を育むことが大切だと思っています。今年は「こども計画」の策定も考えています。子どもたちの提案もしっかり聞いていきたいです。

## 一人ひとりに寄り添う

**福嶋** 今、全国的にも不登校で悩んでいる子どもたちが増えています。明石市は、一人ひとりに寄り添う取り組みを進めています。  
**丸谷** 不登校については私も市長になる前から取り組んできました。多様な居場所、多様な学びが必要。公設民営の居場所を新たに今月末に開所します。また、全中学校内にフリースペースをつくり、小学校にも設置を進めています。また、フリースクールに通う人の経済的負担の軽減のため、補助も行っています。多様な学びをこれからも応援していきます。



校内フリースペース

**福嶋** 学びを応援することに関連して、体育館に空調を入れることが決まりました。気候変動の影響で夏の熱中症対策が喫緊の課題になっています。  
**丸谷** 今年の夏までに全中学校と明商の体育館にエアコンの設置を予定しています。ただ、体育館はエネルギー効率が悪いので、体育館に遮熱シートを設置してはどうかという

民間提案制度(③)もいただいています。冷やすだけでなく、温暖化の対策や環境面も一緒に考えています。熱中症対策という話では、一昨年、高齢者のタウンミーティングをしたときに、電気代を気にせずみんなで集まって過ごせる場所が欲しいよね、という意見があり、ひと涼みスポットを市内55か所に設置しました。



**中島** 飲食店や薬局、整骨院などいろんな事業所が協力してくれたという、まさに共創(コ・クリエーション)です。私は明石市の「みらい人財育成プロジェクト(④)」にも携わっています。市職員の意識改革も大切です。

**福嶋** まさにそうで、さまざまな角度から物事

を考える力がつき、それが市民サービスにつながっていきます。  
**中島** ただトップダウンではなく、職員も一緒に学んでいく姿勢も大事ですね。市民の皆さんも一緒にアイデアを出し合うことで、みんなでまちをつくっていくという実感ができれば、まちに対する愛着が醸成されてももっともっとまちにやさしさが広がっていきそうですよね。



## 明石の未来のために

**福嶋** 春には二見に図書館がオープンします。これも地域の声を大事にできました。  
**丸谷** そうなんです、ワークショップや意見交換を重ねてきました。単なる図書館ではなく、まちの居場所、人と人がつながる所として、「リビング&ライブラリー」(⑤)というコンセプトで準備を進めています。再来年には西明石の地域交流センターにも図書コーナーができますので、そういう居場所を増やしていきたいと思っています。  
**福嶋** こういう公共事業は、何を優先させてやっていくかを考えることが大事。財政を見える化していく動きもあります。



**丸谷** 昨年1年かけてみんな今年春に発行を目指す財政白書

でつくる財政白書(⑥)をさまざまな立場の方に入ってください検討してきました。中学生の皆さんにも読んでもらえるような内容で考えています。印刷費用などは企業版ふるさと納税を活用するなど手法も工夫しています。  
**中島** これから新庁舎建設やごみ処理施設の整備などに取り組むと聞きました。財源を確保することは大事ですし、財政白書を皆さんに読んでいただいて、どういう明石の未来をつくっていったらいいか、一緒に考えてほしいですね。  
**丸谷** ごみに関しては、市民の皆さんにも協力していただいて、「ゼロ・ウェイストあかし(⑦)」を合言葉にごみ減量・再資源化を進めています。資源として活用できるものは活用し、市民の皆さんにもぜひ協力してもらいたいです。  
**福嶋** まち一丸で取り組むことが大事ですね。

## まちづくりを加速

**中島** 対話の場をさらに充実させ、社会課題、地域課題をみんなでどう解決していくか、これからのまちの未来にとって非常に重要になることです。ぜひ続けていって欲しいと思います。  
**丸谷** 今年は、いよいよ対話と共創のまちづくりの第二ステージに入ります。もっとやさしいまち明石をつくるために、市民や企業、教育機関などいろんな人と一緒になってまちづくりを加速していきます。よろしくお願いします。



**① 企業や学校などと連携して産官学民で地域課題を解決へ**

ペットボトルの水平リサイクルに関する協定 締結式  
ペットボトルの循環利用の推進に向け市と飲料メーカーが協定を締結  
自動販売機にステッカーを貼りPR  
ご協力を!  
プラスチックの再資源化を目指しハブラシリサイクルをスタート

**② あかし1DAYプレーパーク 子どもたちの声で生まれた**

公園で! 海で! 思いっきり遊ぼう!  
大蔵海岸、明石公園など4か所で開催。計3500人が参加。  
魚が釣れて楽しかった!  
またプレーパークで遊びたいな!

**③ 民間提案制度 地域の課題解決に向けて**

民間事業者から新たなアイデアやノウハウを生かした提案をいただき、市と対話・議論しながら事業化を目指しています。  
令和6年度提案採用24事業(うち条件付17事業)  
脱炭素・ごみ減少など

**④ みらい人財育成プロジェクト**  
ワークショップなどを通じて、多様な職員の声を聞き取り人材育成に反映。

**⑤ リビング&ライブラリー 新しい図書館のカタチ**

二見図書館 4月開館予定  
12面でワークショップ募集中  
地域に身近な図書館として、イトーヨーカドー明石店内に開館予定。単に本を貸し出しする場所ではなく、地域の居場所、出会いの場所も兼ねた「リビング&ライブラリー」を目指します。  
本とつながる 本からつながる

**⑥ みんなの財政白書 マンガとコラムで紹介**

明石市のお財布事情がよく分かる「財政白書」の制作を市民の皆さんと進めてきました。1月15日まで素案のパブリックコメントを募集しています。

**⑦ ゼロ・ウェイストあかし ごみ減量・再資源化を進めよう**

紙ごみ再資源化プロジェクト  
あかしリサイクルBOX Taco箱 2024年1~11月 17.4トン回収  
事業系機密文書の無料回収 2024年1~12月 38.4トン回収